

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	関節リウマチ患者における clinical inertia の検討		
1. 研究の目的と方法	糖尿病や高血圧の治療において症状が十分改善されていないにもかかわらず、治療が強化されていない状態（clinical inertia）が症状の長期化、合併症の悪化と関係することが報告されています。しかし、関節リウマチにおいては clinical inertia がどの程度存在するかわかっておりません。本研究では関節リウマチにおける clinical inertia の実態を調査したいと考えています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	関節リウマチの患者さんで、附属病院にて2017年4月1日～2018年11月1日の間に“関節リウマチの痛みにおける中枢性感作の横断的研究”に参加した方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、体重、罹病期間、Steinbrocker stage、身体所見、アンケート結果、検査結果（血液検査）、治療経過、治療内容など	
	(4) 情報の取得の方法	過去の先行研究（関節リウマチの痛みにおける中枢性感作の横断的研究）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 リウマチ・膠原病内科
		氏名	野田 健太郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2022年4月頃～		

【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 リウマチ・膠原病内科 研究責任者：講師 野田 健太郎（のだ けんたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3292） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00
-----------------	--

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。